



「佐々木さんを支援する会」会報

ウブムエ

事務局 〒235-0041横浜市磯子区栗木1-22-3 / TEL 045-774-9861洋光台
バプテスト教会内(蛭川明男牧師) / 世話人代表 金子 敬
事務局長 吉高 叶(栗ヶ沢バプテスト教会TEL 047-341-9459)

ニャルワングダ語で「ウブムエ」(ubumwe)とは、「一致」「調和」「和」を意味する。

巻頭言

蛭川明男

ひるかわあきお

世話人会メンバー
洋光台バプテスト教会牧師

クリスマスおめでとうございます。

皆様のお祈りとご支援を心より感謝申し上げます。佐々木さんは、9月30日にイギリスを発ち、REACHの事務所のあるルワンダの首都キガリで、活動のための準備を始めました。

10月後半からは、REACHの現在の活動をしっかりと把握すべく、メンバーと共に活動を開始しました。まだ二ヶ月あまりの滞在ですが、佐々木さんからの報告をお聞きしながら、気候、風土、治安等、日本では考えられないような厳しい状況の中に佐々木さんを送り出している事をしっかりと認識して支えていかねばならないと心の引き締まる思いがしました。

また、ご家族の恵さんとお子様方は、12月20日にルワンダに向けて出発します。ルワンダ到着は21日の予定で、ご家族そろってキガリでの初めてのクリスマスを迎えられます。そして年が明けると、お子様方は新学期を迎えます。気候、風土に慣れる間もなくの新学期です。お子様方のためにもお祈り下さ

い。また、労働許可の取得が遅れ、非常に高い関税を支払わなければ、家財道具を税関から受け取る事も、必要な車を購入することも出来ません。一日も早く労働許可を取れるようお祈り下さい。

さて、佐々木さんを支援する会を立ち上げて、はや一年が経とうとしています。世話人会は当初、支援する会に賛同して下さる方の人数・団体を500件、定期支援の口数を500口/月を目標としていました。本当に嬉しい事ですが、この11月、その目標に到達しました。多くの方々のご支援に深く感謝いたします。しかし、この目標は佐々木さんがルワンダでこれから繰り広げよとしている働きを考えると決して十分なものではありません。支援の輪がもっともっと広がり、佐々木さんのルワンダにおける「平和と和解」の働きをしっかりと支える事が出来るように願っています。これからも一層のご支援をお願い致します。特にクリスマスの時、この働きを覚えてくださり、お祈りとご支援を賜りたくお願い申し上げます。

佐々木和之

ささきかずゆき

ルワンダでの働きをスタートしました

ゆっくりやっていくこと、時間を掛けて信頼できる人を見つけること、そして、その人達としっかりと関係を築いていくこと・・・

■ノヘリ・ンズィザ！

皆様、ルワンダからクリスマスおめでとうございます。「ノヘリ・ンズィザ！(Noheli nziza)」とはニャルワンダ語のメリー・クリスマスです。ルワンダに赴任してからあつという間に2ヶ月が過ぎ、2週間後にはクリスマスを迎えます。家族がその直前に到着する予定ですので、ルワンダで最初のクリスマスを家族5人一緒にお祝いできることになりました。

私のルワンダでの生活は、最初から波乱含みのものになりました。当初の予定は、イギリスのリーズを9月30日の午後3時に出発し、アムステルダム、ナイロビ(ケニアの首都)と飛行機を2回乗り継ぎ、翌朝8時にキガリ(ルワンダの首都)に到着するというものでした。しかし、ナイロビ空港で貨物機の事故があった影響で、結果的に予定より33時間遅れの10月2日午後5時過ぎにキガリ到着となりました。その後すぐ市内のホテルにチェックインしたのですが、客室を一時空けている隙に所持金を盗まれてしまいました。長旅の後で疲労困ぱいだったこと、そして、やっと泊り慣れたホテルに辿り着いたとの安堵感から油断してしまったのが悪かったのですが、ショックで眠れない夜を過ごしましたが、とんだBAD WELCOMEになってしまったわけですが、常に神様の守りと導きを祈りつつ、また、細心の注意を払いつつ生活をしていかなければならないことを肝に銘じる機会となりました。

到着後の最初の1ヶ月は、借家探し、

銀行口座の開設、運転免許の切替、子ども達の学校の編入手続き等、家族で落ち着いて生活する環境を整えるため、そして、労働許可取得の手続きのために毎日乗合タクシーを乗り継いで走り回りました。

しばらくREACH (Reconciliation Evangelism And Christian Healing) の総主事であるフィルバート・カリサ牧師の家に居候させて頂きましたが、11月1日に借家への引越しを済ませました。子ども達の学校(英語で教育をしている現地私立校)の近くにあり、風通しがよくてゆったりした家です。まだイギリスから船便で送った家財道具が届いていないため、何かと不便ではありますが、ようやく落ち着いて生活が出来るようになりました。

首都キガリが海拔約1500メートルの高地にあることから、まだ急な坂道を登るときなどは多少息が切れますが、体の方も大分こちらの気候に馴染んできました。

■REACHの一員として活動開始

REACHは、ジェノサイド(集団殺戮)や内戦によって傷ついた人々の癒しと和解を目指して、1996年に創設されたルワン



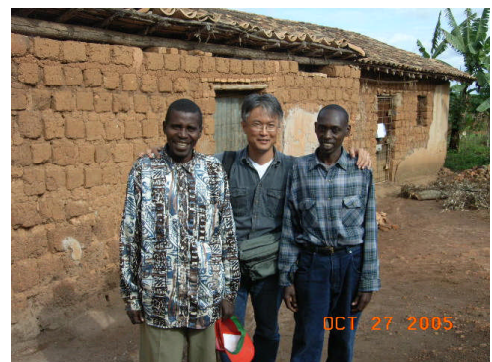
ダ人によるルワンダ人のためのNGO（非政府組織）です。現在有給の現地人職員は3名のみで発展途上のNGOですが、実際の活動は地元のキリスト教諸教会と協力して進めています。ルワンダ到着後、カリサ牧師と私の役割について話し合い、当面は以下の二つの課題に取り組んでいくことになりました。第一は、REACHが現在実施している住民リーダー（宗教リーダーを含む）を対象とした平和と和解のセミナー、青少年のための平和教育・交流プログラム、紛争の被害者への生活再建支援等の活動をより充実したものにしていくこと。第二は、前号でお伝えしたように、11年前のジェノサイドの時に殺戮や破壊行為をした罪で有罪判決を受けた人々が参加する「償いのプロジェクト」等、新規のプロジェクトを立ち上げていくことです。まずはREACHの活動状況をしっかり把握する必要がありますので、平和と和解のセミナーの様子を観察したり、活動地を訪問して草の根レベルでREACHの活動に参加している人々の話を聞くことに努めています。また、今月からは、新規プロジェクトの立案に必要な情報の収集を始めました。

■ ゆっくり歩いていくこと

ルワンダに来てまだ2ヶ月ですが、国際援助関係で働くルワンダ在住の「外国人」と何度か会って話しをする機会が度々あります。そんな時、必ず聞かれる質問は、「どの位この国に滞在するのですか？」という質問です。私は、「今の契約は取り合えず3年ですが、この国にはもっと長く関わることになると思います」と答えます。すると、少なからぬ人達が「それは大変ですね」という反応を示します。いろんな意味で大変な国だということなのでしょうが、何か「それはお気の毒に」と言われている様で複雑な気持ちにさせられることが度々です。外交官や国際援助関係者の間では、ルワンダは「任期を出来るだけ早く終えて帰国した

い国」のワーストいくつかに入る国なのだそうです。事実、大多数の「外国人」は、1年か2年の任期を終えて帰国します。「もう少し元気の出る話をしてくれる人がいないものか」と思っていたところ、10年以上キリスト教の宣教師として働き、間もなくアメリカに帰国するというソーニャさんと出会いました。彼女はユダヤ系アメリカ人で、ホロコースト（ナチスドイツによるユダヤ人大虐殺）の生存者です。「この国で働いていく上で気を付けるべきことは何でしょうか」という私の質問に、彼女は、「ゆっくりやっていくことです」と答えました。「時間を掛けて信頼できる人を見つけること」、そして、その人達と「しっかりと関係を築いていくこと」。「そうしなかったために裏切られ、深く傷ついて帰っていった人達を何度も見てきました」と、最後に彼女は付け加えました。「ゆっくりやっていくこと」。この言葉は、ルワンダで働き始めた私にとってとても大切な言葉になりました。

皆様の温かいご支援とお祈りを感謝いたします。次回はもう少し紙面を頂いて、活動内容や現地の人々との出会いについてもお伝えできればと思います（これまで書いた手記については、バプテスト連盟ホームページ<http://www.bapren.jp>を御覧下さい。）それでは、このクリスマスが喜びに満ち溢れたものになりますように、そして、新しい年の皆様の歩みの上に、神様の豊かな守りと導きがありますようにお祈り致します。



ご入会・ご支援 ありがとうございます

支援の広がり感謝します。

前回報告後、8月1日以降にご入会くださった
方々のお名前を掲載させていただきます。

相原すみ江、芦屋キリスト教会女性会、石井矩子、伊藤光雄、伊藤勇二・清子、伊藤世里江、伊藤良子、岩下一彦、上山由美子、梅北美智子、浦田雅彦、Mr William Burras、江崎恵子、大久保おくづ、大谷心基、岡 久凱・恭子、岡田 久、岡村悦弥・律子、奥田知志、小島桂子、角田秀明、加藤享・喜美子・加藤新、神坂直子、菊地フミエ、栗本高幸・祥子、黒川文雄、河野忠功、近藤聖香、佐々木靖・松子、佐藤恵美子・他7名、佐藤忠道、佐野静樹、猿田典子、清水ヶ丘教会海外宣教会、清水寿美子、Mrs. Sibon Fisher、菅野雄基、鈴木 伸、鈴木春海、関山裕子、瀬村真司、仙敷眞代、大富キリスト教会女性会(粒の種会)、高田まり子、高橋香代子、高山登美子、高良相子、竹内北子、竹村紀彦、田崎民雄、堂前浩子、「地球の子どもを応援する会」野澤一良、戸川和子、富重佐江子、外山貴子、直井昭美、直津晴子、仲尾次渥子、長尾なつみ、中川幸子、長崎バプテスト教会女性の会、長嶋玉枝、永久寿夫・加津巳、長久政子、中村支那子、中村典子、鍋谷恵地子、日本バプテスト鹿児島キリスト教会、根来佐子、原田廣子、播磨信子、藤井秀一、藤沢バプテスト教会、藤田須美子、藤原信子、古谷、防府バプテスト教会マルタ・マリア会、北陸学院中学校、保崎清人、堀井隆子、牧美子・本末教恵・西条千恵子・安藤美弥子、松村信活、真部恵子、瑞穂キリスト教会女性会、水戸バプテスト教会、宮邊悦子、森島牧人・恵、山口邦子、山崎良子、横川征志郎、吉野洋美、吉原千恵子、米島洋子、力武恵子、渡辺初美、渡辺紘光・渡辺和子
(あいうえお順 敬称略)

12月 日現在 寄せられました支援金の総額は
者(口) 総額 円です。
感謝をもってご報告申し上げます。

郵便振替口座 00250-0-112907 佐々木さんを支援する会

事務作業を簡素化するため、すべての支援者に一律に「振替用紙」を同封させていただいています。請求ではありませんのでご了承ください。必要な方はご利用ください。

なお、「郵便自動引き落とし」をご利用いただけます。ご連絡いただければ、所定の申込用紙を送らせていただきます。

洋光台教会・蛭川までご連絡ください。(電話045-774-9861)

【乞ご期待!】「佐々木さんを支える会」のホームページを準備しています。ウブムエ4号をお届けするところにはできあがり、皆様にURL(ホームページの住所)をお伝えできるようにしたいと思います。

世話人会 金子 敬(目白ヶ丘教会牧師)、蛭川明男(洋光台教会牧師)、
村上千代(日本バプテスト女性連合幹事)、吉高 叶(栗ヶ沢教会牧師)